小野木 亜美　Ami Onogi

科学者に憧れて、顕微鏡を覗いているかのように世界を見てきた。
私の作品に見られる無数の滲みは「細胞」、使用する和紙は「皮膚」の役割を担っている。
生き物のミクロとマクロ、両方の世界が見られる、透明で深い画面を作り出したい。
そうすることで、規則的なデジタルには見られない自由な世界が広がると思うから。

【略歴】

1992 年生まれ　福島県出身
2021 年　東北芸術工科大学大学院 芸術工学研究科 博士後期課程 芸術工学専攻 修了

【個展】

2016 年「Babble 小野木亜美 展」GALLERY.b.TOKYO（京橋・東京）
2019 年「小野木亜美 展」ギャラリー58（銀座・東京）
2020 年「画廊からの発言 新世代への視点 2020」ギャラリー58（銀座・東京）
2021 年「小野木亜美 spectrum 展」ギャラリー58（銀座・東京）

【主なグループ展】

2014 年「天童アートロードプロジェクト てんてん展」天童市美術館（天童市・山形県）
2016 年「公益財団法人佐藤国際文化育英財団第 25 回奨学生美術展」佐藤美術館（新宿・東京）
2017 年「うごめく東北の鼓動 2017」ギャラリー58（銀座・東京）
「凪はなにいろですか part1」ギャラリイ K（京橋・東京）
2018 年「Square 展」ギャラリー58（銀座・東京）

【受賞歴】

2020 年「画廊からの発言 新世代への視点 2020」オーディエンス賞受賞